

Q.「人」のライブハウスとは?

A.人が主役になって
表現しあい、理解しあうライブ!

「まち塾@まちライブラリー」の基本コンセプトは、ミクロな視点で頑張っている人に注目し、話題を提供してもらい、語らいの輪を広げること。今回、この人たちを「カタリスト-catalyst」と呼びます。`語り合い、と英語の`触媒、を掛け合わせてみました。その「カタリスト」に集まる参加者の皆さんを「フォロワー」と呼ぶことにします。「カタリスト」の夢を少しでも実現するサポーターであり、参画者になってほしいからです。本棚が並んでいる閲覧コーナーに散らばって「語らいと学びあいの輪」を広げましょう!

Q. まちライブラリー

まち塾@まちライブラリーとは?

A.一人からはじめられる
文化活動!

アーク都市塾から六本木アカデミーヒルズまで、長年教育・文化活動に携わってきた磯井純充が個人的に提唱し始めた「一人からはじめられる」文化活動です。全国各地で現代版寺子屋である「まち塾」を実施し、その拠点となる場所やまちにある人と人が出会う場所にメッセージ付の本を持ち寄った「本棚」を設置して「まちライブラリー」としていくことを目的にした活動です。現在、大阪、東京、横浜、山梨、和歌山などを中心に活動の輪が広がりつつあります。東京では、西麻布、入谷、西小山、四谷、奥多摩鳩ノ巣、横浜では日吉、大阪では天満橋、谷町を中心に多くの「まちライブラリー」スポットが誕生しつつあります。

People + Book + Music

“人”のライブハウス Autumn 2011 | 11月23日(水曜・祝日)
@日比谷図書文化館 by まち塾@まちライブラリー

まち塾@まちライブラリーが日比谷図書文化館のここかしこに。
語り合いの輪が、学び合いの縁が、音楽と共に!

旧・都立日比谷図書館が、11月より「千代田区立 日比谷図書文化館」としてリニューアルオープン。そこで、「本」が媒介になって、「人」との縁を紡ぐ目的ではじめた「まち塾@まちライブラリー」が館内すべてをジャックして、フェスティバルを開催します。その名も、個人の力で活躍する多くの人を集めた「人」のライブハウス。たくさんの方々のご参加をお待ちしています!



主催 まち塾@まちライブラリー 「人」のライブハウス 実行チーム
後援 財団法人森記念財団、早稲田大学社会連携研究所、大阪府立大学観光産業戦略研究所
協力 千代田区立 日比谷図書文化館
協賛 株式会社シェアード・ビジョン、株式会社小学館集英社プロダクション、株式会社図書館流通センター

- S T A F F
- 総合プロデュース 磯井純充
 - 進行ディレクター 大久保奈美
 - リソースコーディネーター 友廣裕一
 - 特別アドバイザー 友成真一、夏目 承
 - 音楽プロデュース&ディレクター JOYZ
 - イラストレーション ささきさとみ
 - コーディネイト&編集 今村ナオミ
 - 運営ディレクター 村上玲子
 - グラフィックデザイン Better Days

“人”のライブハウス
3つの
Joyful Point

- Joyful Point 1**
約30名の身近な「カタリスト」(語り部)が話題を提供し、小規模で顔の見えるトークセッションをします。「フォロワー」(参加者)と一緒にミクロな夢の実現を語り合います。
- Joyful Point 2**
参加者全員が顔の見える関係になるために、各自「本」を持参し、「その本と私」で1分間の紹介をして、貸しあいます。(お互いの責任で返却)
- Joyful Point 3**
音楽セッションも同時進行! 音楽と語り合いのコラボ、「ライブ&ライブ」もお楽しみに。

日時 11月23日(水曜・祝日) 16:00~20:00 (受付15:30~)

遊び代 2000円 (パーティー代も含む、本の持参もヨロシク!)

第1部

アゴラトーク

16:00~17:00 @地下大ホール

全体の趣旨を理解しあう

「マクロからミクロ」に展開する「まち塾@まちラブラリー」の役割と展望
「人のライブハウス」のオリエンテーションについて

第2部

カタリストトーク&ライブ

17:15~19:00 @全館

各フロアに分かれての語り合いとライブミュージック

17:15~17:30 「本」を介した自己紹介タイム

17:30~18:45 カタリストトーク (早く終わったチームはライブへどうぞ)

18:15~19:00 ライブ

第3部

ネットワーキングParty

19:00~20:00 @4階 小ホール

冒頭 竹中平蔵さんからのリマークス

ワインを共に本の貸し借り交換会

申し込み先 → <http://www.machijyuku.org>

お問合せはメールにてお願いいたします → hibiyamachi@gmail.com

参加の心得

●本の持参

参加者は、一人一冊の「本」を持ってきてください。カタリストトークがはじまる前にお互いに「本」の紹介をしあって自己紹介してください! (各自1分以内ね) そしてその「本」にメッセージカードを付けて、できれば交換しあい、再会の集まりを約束しましょう。もし貸し借りが成立しなかった場合は、都内にあるご希望の「まちライブラリー」にご寄託することもできます。

(10か所:日比谷図書文化館 専用棚、西麻布co-lab、イリヤプラスカフェ、入谷toco、西小山ラウンジ、西小山SLOW、奥多摩鳩ノ巣カフェ山鳩、四谷3丁目 陽運寺、二子玉川カタリストAB、横浜・日吉イシダ薬局)

●「YouME」(ゆめ)シートを渡す

フォロワーは、カタリストに「YouME」(ゆめ)シートを渡します。カタリストの夢や情熱を受けて、少しでも前向きに進むようなメッセージを書いて渡してください。メッセージの受け渡しは、うやうやしく受け渡し、受け取るようにしてくださいね。

第1部

アゴラトーク

なぜ「まち塾@まちライブラリー」が誕生したのか? 何を目指しているのか?

その舞台裏をお話するとともに「人のライブハウス」の意図と仕組みについてオリエンテーションします。

ファシリテーター

●磯井純充

『まち塾@まちライブラリー』と『人のライブハウス』の趣旨説明

まち塾@まちライブラリー 提唱者。「人のライブハウス」総合プロデューサー。「アーク都市塾」「六本木アカデミーヒルズ」と長年に亘って教育事業に携わった経験を活かし全国各地で「まち塾@まちライブラリー」の構想を実行中。

●友成真一

まち塾の『YouME (ゆめ)』方式と『ミクロ』の視点について

まち塾@まちライブラリー 実行委員長、早稲田大学教授。「ミクロ」の視点から「学びあう」という「まち塾の基本コンセプト」を提案。

●友廣裕一

人の縁を大切にし、現地に赴く『まち旅』とは

まち塾@まちライブラリー 実行委員。まちの旅人。限界集落から被災地までミクロに人との縁を紡いで「まち塾」のたちあけのきっかけをつくる。

●夏目 承

性差、年齢、立場による視点の違いを越えて語り合う意味とは

まち塾@まちライブラリー 実行委員。新聞記者歴25年。男性社会の中で、事件やインタビューなどの取材を通して、男女の視点の違いなどに着目。

第2部

カタリストトーク&ライブ

カタリストは、身近な視点、個人の立場で頑張っている人たちです。

各自の夢や活動を図書館の2階、3階、4階の本棚の前で、小さなグループに分かれて

語り合っていただきます。誰もが、情熱と粘り強さをもてば前向きに生きられ、

「夢」を持ち続けられます。語り合い、学びあって人の縁を広げてください!

音楽とのコラボレーション!

JOYZの協力を得て音楽セッションも同時進行させます。

ウエルカムDJを図書館玄関に、ミュージック広場を3階レファレンスエリアに設置して

音楽と語りの「ライブ&ライブ」を楽しく開催します。またGAINENの精神科医としての語りと

弾き語りも「カタリストトーク」の中で行ないますので、ヨロシク!

*JOYZ

KEYOSSIEとGAINENを中心に発案。2011年という、混沌とした時代、音楽の力を信じて

JOYのAtoZ (喜び、楽しみ、ワクワク、キラキラetc...)を表現するべく活動をスタート。様々なスペース、フォーマットでの

カラフルな音楽表現を展開。音楽監督として権藤知彦 (pupa/anonymass) が在籍。その他力強い音楽仲間を集めている。

谷中敦 (東京スカバラダイスオーケストラ) 鈴木慶一 (ムーンライダーズ) 曾我部恵一など多数参加、

1stアルバム「Pop-Ups」を2011年4月6日にリリース。東京造形大学イベント企画、特別講師担当。

第3部

ネットワーキングParty

館内に分かれて語り合った後は、ワインを片手に他のチームの

カタリストやフォロワーと出会ってください。冒頭、竹中平蔵さんから館内の様子を見た

ご感想もお話いただけると幸いです。更にこの場にて、本の交換もしてみてください。

そして返却の約束をして再会を期し、縁を深めてくださいね!